

地域建設業の 在り方を議論

新潟大らイン フラ整備講座

新潟大学と小野組は18日、新潟市の同大駅南キャンパスとぎめいにて「地域インフラ整備概論」に関する講座を開いた。写真。「県内建設業の目指すべき姿」をテーマに、インフラ整備の現状や地域建設業の在り方などを掘り下げた。現役技術者ら約10人が受



講した。

地域社会インフラ整備の担い手育成リスクリプログラム

ム、社会インフラ共創講座の一環で、学生と若手社会人のキャリアパス形成を支援するのが狙い。

北陸地方整備局の信太啓貴企画部長と新潟県土木部監理課の吉田尚志企画調整室長が講師として登壇した。

信太企画部長は、北陸管内で発生した自然災害や防災・減災、国土強靱化対策のほか、働き方改革や生産性向上、DX（デジタルトランスフォーメーション）などを紹介。そ

の上で、「国民生活を支える社会インフラの整備、維持管理には建設業の力が不可欠だ。業界に携わることに誇りが持てるような取り組みを今後も進め、持続性の向上を支援したい」と述べた。

吉田室長は、第4次・新潟県建設産業活性化プランや週休2日適用工事、建設産業バツクオフィスDX推進総合支援事業などを説明した。最後に質疑応答も行った。